

質問順位	12	質問者	渡邊龍之議員	
件名	項目	要旨	メ	モ
1. 広域行政	1. 中空知定住自立圏共生ビジョンについて	1. 中空知定住自立圏共生ビジョンの期間が平成26年度から平成30年度までの5年間で、本年は最終年となります。具体的内容等については、その都度協議を行い見直しをしています。圏域内全体で共通認識のもと各取り組みがなされていると思います。各分野において中心市が主体的になって他自治体と協定を結ぶ関係ですが、協定内容を検討される中で共通意識が共有されて十分に醸成なされているのか伺います。 具体的協定内容について下記の3点について伺います。 ① 医療に関しては、救急医療の維持確認での協定内容では乙の役割として必要な協力と応分の経費の負担と記載されていますが、その詳細は。 ② 福祉に関しては、障がい者福祉の推進での協定内容では甲の役割として地域活動支援センター、相談支援事業所、障がい児通所支援事業所における具体的な連携とは。 ③ 産業振興に関しては、甲乙とも観光振興事業に力点を置いています。地域ブランドの開発として、この中空知をさらにPRをしなければと考えるが振興に向けての見解は。		
2. 保健福祉行政	1. 障がい者の雇用について	1. 障がい者の雇用には、いろいろな形態があります。しかし、基本的な考えとしては、障がい者の経済的自立ということが命題だと認識するところです。農業においては、高齢化、後継者不足という課題がクローズアップされています。すでに聴き慣れている農福連携があります。お互いのメリットを考えた場合、双方の関係がうまく機能するのではと思います。すぐに実績が出るには時間がかかりますが、すでにこの農福連携を実践し実績を収めている団体もあります。それぞれの課題を克服するにはハードルが高いかもしれません。当市においても一考することが重要と考えますが見解を伺います。		

質 問 順 位	12	質 問 者	渡 邊 龍 之 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	2. 高齢者の交通手段について	1. 高齢者の自動車運転免許証の返納が多くみられます。マイカーでの通院や買い物などされている方々は、なかなか自主的に免許証を返納するとはならない現実にあります。しかし、高齢ドライバーによる交通事故は後を絶ちません。家族が心配しないためにも、免許証を自主返納して公共交通機関に切り替えるような事業を展開すべきと考えますが、検討される予定はあるのか。また、他市の状況等についての把握はなされているのか伺います。		
3. 教育行政	1. 学校・家庭・地域の連携について	1. 行政が自主的に行う地域の実情に応じた学校・家庭・地域の連携協力によるさまざまな具体的な取り組みを促進するために事業が展開されています。「学校支援地域本部」「放課後子ども教室」「家庭教育支援」などは地域住民の参画により子どもたちの教育を支援する取り組みの推進に向けて、効率的、総合的に実施されているが、現状での課題と対応策について伺います。		
	2. 教育委員会制度について	1. 平成27年4月1日に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正されました。この改正により新教育長が名実ともに教育委員会の代表者となり、他の委員より権限が強くなりました。そのため教育委員による教育長のチェック機能が求められます。そこで教育委員は、会議の招集請求、教育長が委任された事務の管理、執行状況の報告義務をきちんと受けているのか伺います。		

質 問 順 位	12	質 問 者	渡 邊 龍 之 議員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
	3. 指導が不適切な教員の対応について	1. 学校教育の直接の担い手である教員の資質能力が求められる。教員としての的確な人材を確保することは重要な課題と考えるところです。児童生徒との適切な関係を築くことができないなどの教員の存在は、児童生徒だけではなく保護者等からの学校への信頼を損なわせるものと考えます。平成26年の地方公務員法の改正では、人事評価制度が導入され、能力や実績に基づく人事評価が明記されたが、このような指導が不適切な教員に対しての対策となっているのか伺います。		
	4. 教職員の健康について	1. 学校教育は、教職員と児童生徒との人格的な触れ合いを通じて行われるものと解するところです。教職員が心身ともに健康で教育に携わることが重要と考えます。しかし、教職員の勤務時間、業務量が増加傾向にある現状においては、教職員の精神的不調が社会的な課題となっています。不調の原因には教員間の残業時間のばらつきや学校管理職との考え等のギャップなどいろいろなことが考えられますが、早急な対策を講じることについて考えを伺います。		